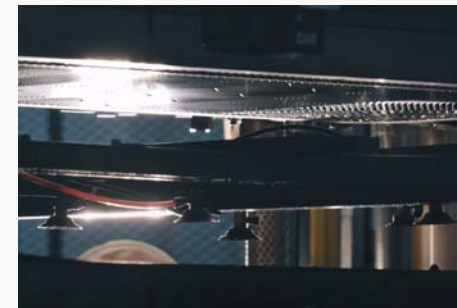


証券コード：6247

2021年3月期 第2四半期 決算説明会 資料



2020年12月2日

 株式会社 ひ さ か 日阪製作所

目次

- 会社概要 . . . 2
- 2021年3月期第2四半期決算の概要 . . . 5
- 2021年3月期決算の見通し . . . 16
- 中期経営計画「**G-20**」の概要 . . . 21
- 足元の事業概況及び取り組み施策 . . . 29

会社概要

社名	株式会社 日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.
創業年月	1942年5月（昭和17年5月）
事業内容	産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業
資本金	41億5千万円
発行済株式総数	32,732,800株
株式上場	東京証券取引所 市場第一部
売上高	325億円（連結／2020年3月期）
従業員数	932名（連結）
関係会社数	11社（海外関係会社含む）
国内拠点	大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所 東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・千葉・尾道営業所
海外拠点	マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、サウジアラビア、韓国

※2020年9月末現在

日阪グループの事業領域



●プレート式熱交換器



熱交換器事業
37.0%



●レトルト調理殺菌装置



●連続液体滅菌装置

プロセス
エンジニアリング
(P E) 事業
49.1%



●液流染色機



●全自動連続殺菌冷却装置
(旭工業株)

売上高比率
(2020年3月期実績)

バルブ
事業
13.6%



●ボールバルブ

その他
事業
0.3%



●太陽光発電事業
(その他事業)

はじめに

- 2021年3月期より報告セグメントを変更いたしました。セグメント別業績の前年同期比は前年同期の数値を新セグメントに組み替えて表示しております。
- 2021年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。
- 2021年3月期より「有形固定資産の減価償却方法」を変更しております。

2021年3月期第2四半期 決算概要

1-① . 決算の概要 (対前年同期)

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	16,001	—	14,254	—	▲ 1,747	▲ 10.9%
うち、海外受注高	2,234		1,633		▲ 600	▲ 26.9%
売上高	16,222	—	13,888	—	▲ 2,333	▲ 14.4%
うち、海外売上高	2,581		2,198		▲ 383	▲ 14.9%
営業利益	1,106	6.8%	866	6.2%	▲ 239	▲ 21.7%
経常利益	1,279	7.9%	1,050	7.6%	▲ 228	▲ 17.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,137	7.0%	686	4.9%	▲ 450	▲ 39.6%

1 - ② . 決算の概要 (対計画)

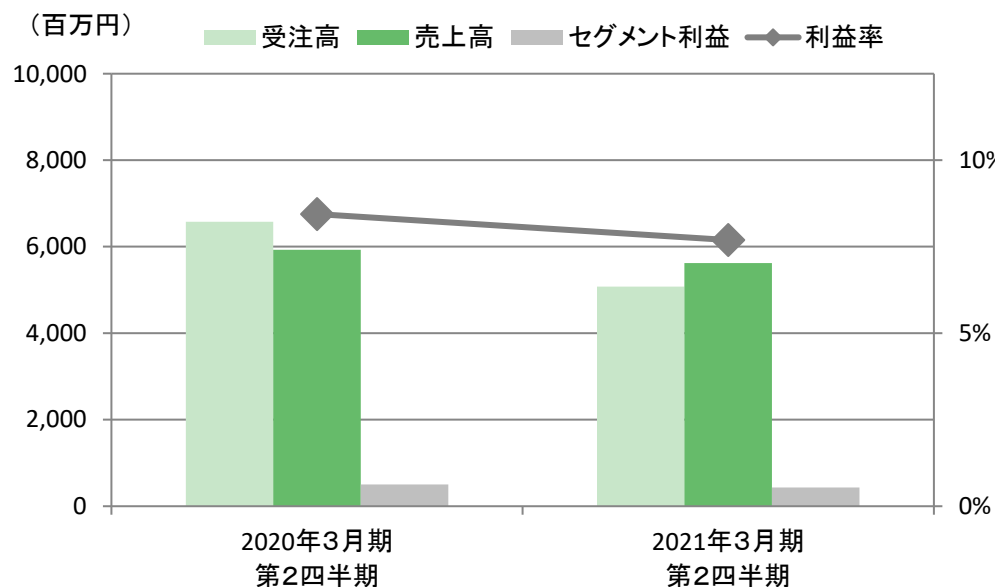
(百万円)

	2021年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		計画比	
	計画 (2020/8/7公表)	利益率	実績	利益率	差額	達成率
受注高	14,600	—	14,254	—	▲ 345	97.6%
売上高	14,500	—	13,888	—	▲ 611	95.8%
営業利益	800	5.5%	866	6.2%	66	108.3%
経常利益	990	6.8%	1,050	7.6%	60	106.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	630	4.3%	686	4.9%	56	109.0%

2-①. 熱交換器事業

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	6,574	—	5,074	—	▲ 1,500	▲ 22.8%
うち、海外受注高	858		589		▲ 269	▲ 31.4%
売上高	5,925	—	5,619	—	▲ 305	▲ 5.2%
うち、海外売上高	791		712		▲ 78	▲ 9.9%
セグメント利益	500	8.4%	432	7.7%	▲ 67	▲ 13.6%



<受注高>

- × 船舶の新造案件が低調
- × 鉄鋼、産業機械関連の中小型汎用品が低調
- バイオマスや地熱発電などの小口需要が増加

<売上高>

- × 産業機械関連の中小型汎用品が減少
- メンテナンス関連は堅調

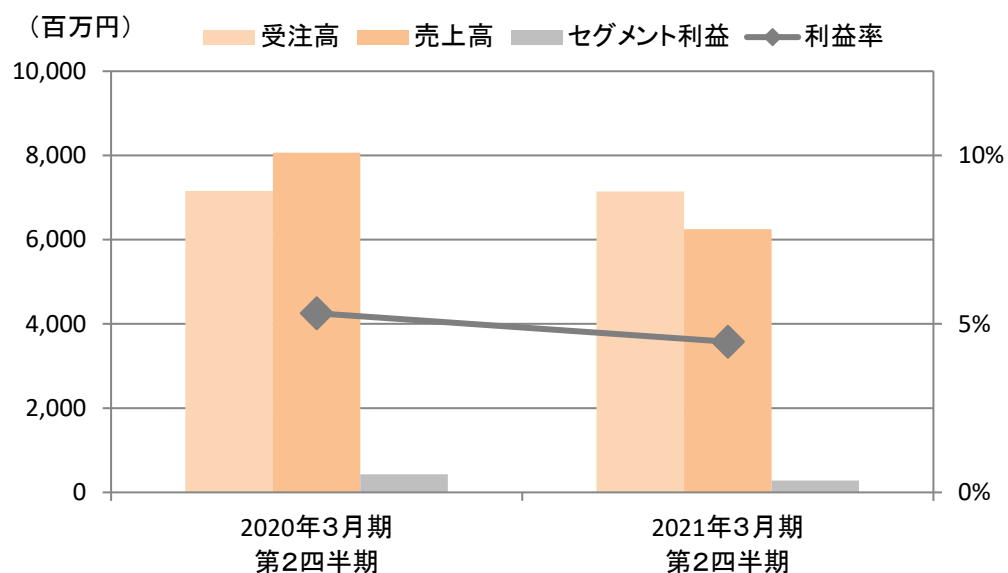
<セグメント利益>

- × 売上高の減少

2-②. プロセスエンジニアリング事業

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	7,153	—	7,145	—	▲ 8	▲ 0.1%
うち、海外受注高	1,146		873		▲ 273	▲ 23.8%
売上高	8,063	—	6,248	—	▲ 1,815	▲ 22.5%
うち、海外売上高	1,538		1,217		▲ 321	▲ 20.9%
セグメント利益	428	5.3%	279	4.5%	▲ 149	▲ 34.8%



<受注高>

- × 食品機器の新規案件が減少
- × 染色仕上機器の引き合いが減少
- 新型コロナウイルスワクチン培養プラントなど医薬機器が好調

<売上高>

- × 食品機器の大型案件が減少、移動制限等による納期延期
- 医薬機器の漢方薬プラント案件
- 染色仕上機器の海外プラント案件

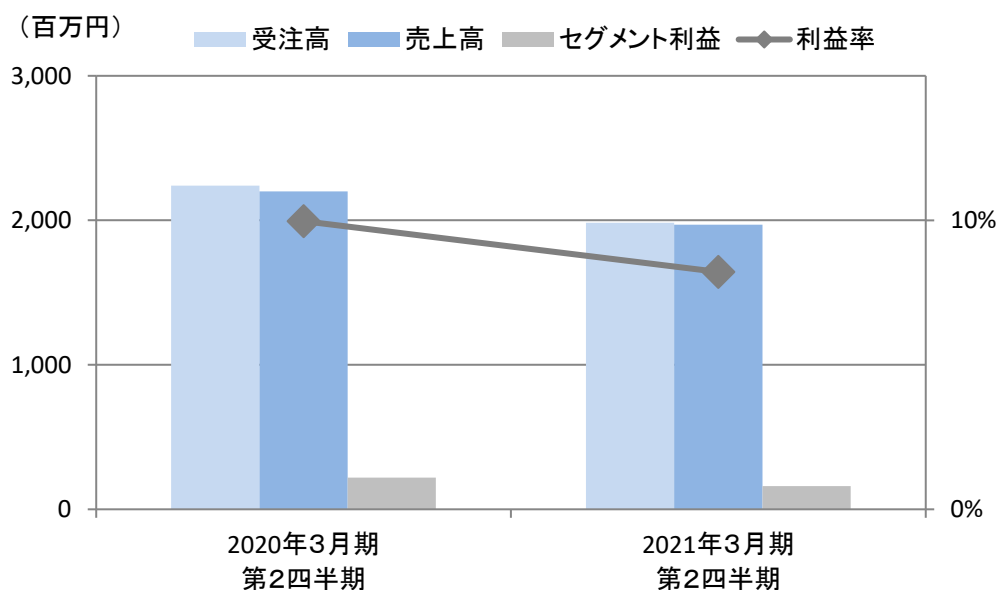
<セグメント利益>

- × 売上高の減少

2-③. バルブ事業

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	2,240	—	1,983	—	▲ 256	▲ 11.4%
うち、海外受注高	229		170		▲ 58	▲ 25.5%
売上高	2,200	—	1,969	—	▲ 230	▲ 10.5%
うち、海外売上高	251		267		16	6.4%
セグメント利益	219	10.0%	161	8.2%	▲ 57	▲ 26.2%



<受注高>

- × 設備投資の減少、プラント案件の規模縮小などにより引き合いが減少

<売上高>

- × 受注が減少
- 東南アジアでは売上が伸長

<セグメント利益>

- × 売上高の減少

3-①. セグメント別の業績（受注高、売上高）

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	6,574	41.1%	5,074	35.6%	▲ 1,500	▲ 22.8%
プロセスエンジニアリング事業	7,153	44.7%	7,145	50.1%	▲ 8	▲ 0.1%
バルブ事業	2,240	14.0%	1,983	13.9%	▲ 256	▲ 11.4%
その他	33	0.2%	51	0.4%	18	54.3%
小計	16,001	100%	14,254	100%	▲ 1,747	▲ 10.9%
調整額	—	—	—	—	—	—
受注高	16,001	—	14,254	—	▲ 1,747	▲ 10.9%
熱交換器事業	5,925	36.5%	5,619	40.4%	▲ 305	▲ 5.2%
プロセスエンジニアリング事業	8,063	49.7%	6,248	45.0%	▲ 1,815	▲ 22.5%
バルブ事業	2,200	13.6%	1,969	14.2%	▲ 230	▲ 10.5%
その他	33	0.2%	51	0.4%	18	54.3%
小計	16,222	100%	13,888	100%	▲ 2,333	▲ 14.4%
調整額	—	—	—	—	—	—
売上高	16,222	—	13,888	—	▲ 2,333	▲ 14.4%

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

(百万円)

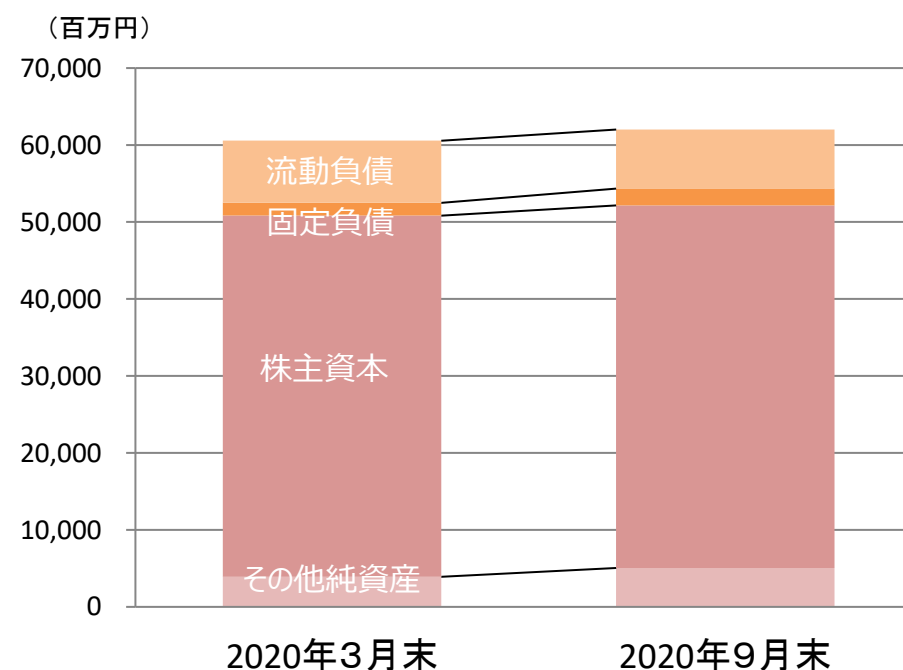
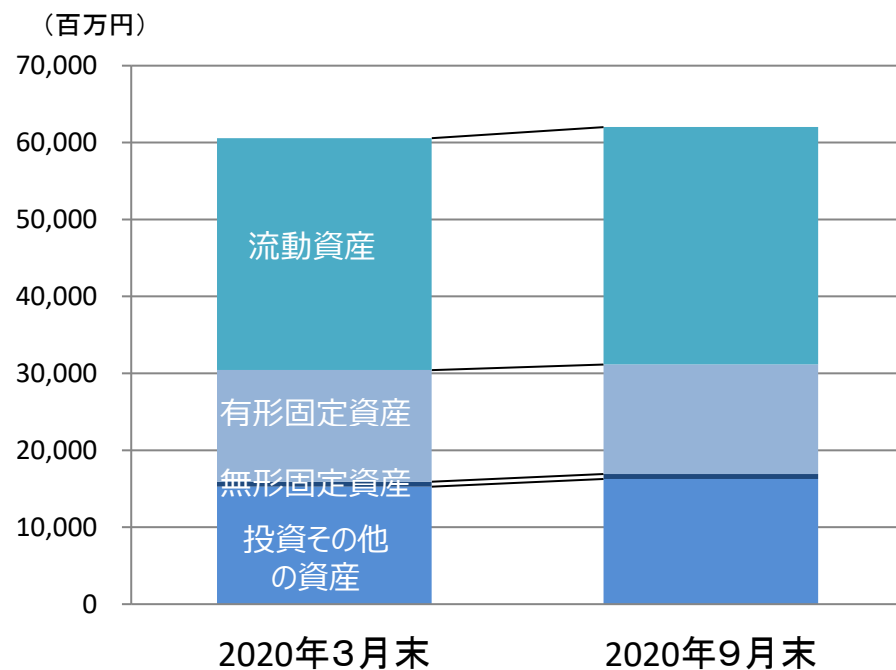
	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	500	42.9%	432	47.5%	▲ 67	▲ 13.6%
プロセスエンジニアリング事業	428	36.8%	279	30.7%	▲ 149	▲ 34.8%
バルブ事業	219	18.8%	161	17.8%	▲ 57	▲ 26.2%
その他	16	1.5%	36	4.0%	19	117.7%
小計	1,165	100%	910	100%	▲ 254	▲ 21.9%
調整額	▲ 58	—	▲ 43	—	14	—
営業利益	1,106	—	866	—	▲ 239	▲ 21.7%
熱交換器事業	4,345	33.1%	3,477	23.6%	▲ 867	▲ 20.0%
プロセスエンジニアリング事業	7,773	59.3%	10,187	69.2%	2,413	31.0%
バルブ事業	999	7.6%	1,064	7.2%	64	6.4%
その他	—	—	—	—	—	—
小計	13,118	100%	14,728	100%	1,610	12.3%
調整額	—	—	—	—	—	—
受注残高	13,118	—	14,728	—	1,610	12.3%

3-③. セグメント別の業績 (対計画)

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		計画比	
	修正計画 (2020/8/7公表)	構成比	実績	構成比	差額	達成率
熱交換器事業	5,500	37.5%	5,074	35.6%	▲ 425	92.3%
プロセスエンジニアリング事業	7,000	47.8%	7,145	50.1%	145	102.1%
バルブ事業	2,100	14.3%	1,983	13.9%	▲ 116	94.5%
その他	50	0.3%	51	0.4%	1	102.5%
小計	14,650	100%	14,254	100%	▲ 395	97.3%
調整額	▲ 50	—	—	—	—	—
受注高	14,600	—	14,254	—	▲ 345	97.6%
熱交換器事業	5,800	39.9%	5,619	40.4%	▲ 180	96.9%
プロセスエンジニアリング事業	6,700	46.0%	6,248	45.0%	▲ 451	93.3%
バルブ事業	2,000	13.8%	1,969	14.2%	▲ 30	98.5%
その他	50	0.3%	51	0.4%	1	102.5%
小計	14,550	100%	13,888	100%	▲ 661	95.5%
調整額	▲ 50	—	—	—	—	—
売上高	14,500	—	13,888	—	▲ 611	95.8%
熱交換器事業	400	47.1%	432	47.5%	32	108.1%
プロセスエンジニアリング事業	280	32.9%	279	30.7%	▲ 0	99.8%
バルブ事業	150	17.6%	161	17.8%	11	107.9%
その他	20	2.4%	36	4.0%	16	184.7%
小計	850	100%	910	100%	60	107.1%
調整額	▲ 50	—	▲ 43	—	6	—
営業利益	800	—	866	—	66	108.3%

4. 資産・負債・純資産の状況



(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	増減額
流動資産	30,139	30,855	716
有形固定資産	14,506	14,240	▲ 266
無形固定資産	650	638	▲ 12
投資その他の資産	15,269	16,275	1,005
固定資産合計	30,427	31,154	726
資産合計	60,566	62,009	1,443

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	増減額
流動負債	8,070	7,662	▲ 407
固定負債	1,664	2,188	523
負債合計	9,735	9,850	115
株主資本	46,929	47,107	177
その他純資産	3,902	5,052	1,150
純資産合計	50,831	52,159	1,327
負債純資産合計	60,566	62,009	1,443

5. 連結キャッシュフローの状況

	2020年3月期 第2四半期	(百万円) 2021年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュフロー	1,869	1,959
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 3,303	329
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,881	▲ 381
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 25	8
現金及び現金同等物の増減額	▲ 3,340	1,915
現金及び現金同等物の期首残高	14,568	11,344
現金及び現金同等物の期末残高	11,227	13,259

2021年3月期 決算の見通し

1-①. 通期計画の概要

(百万円)

	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期				2021年3月期 第2四半期	
	実績	利益率	修正計画 (2020/8/7公表)	利益率	増減額	増減率	実績	達成率
受注高	31,952	—	28,500	—	▲ 3,452	▲ 10.8%	14,254	50.0%
売上高	32,511	—	28,500	—	▲ 4,011	▲ 12.3%	13,888	48.7%
営業利益	2,274	7.0%	1,300	4.6%	▲ 974	▲ 42.8%	866	66.7%
経常利益	2,573	7.9%	1,540	5.4%	▲ 1,033	▲ 40.1%	1,050	68.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	6.4%	1,010	3.5%	▲ 1,070	▲ 51.5%	686	68.0%

1-②. 通期計画の概要(セグメント別)

(百万円)

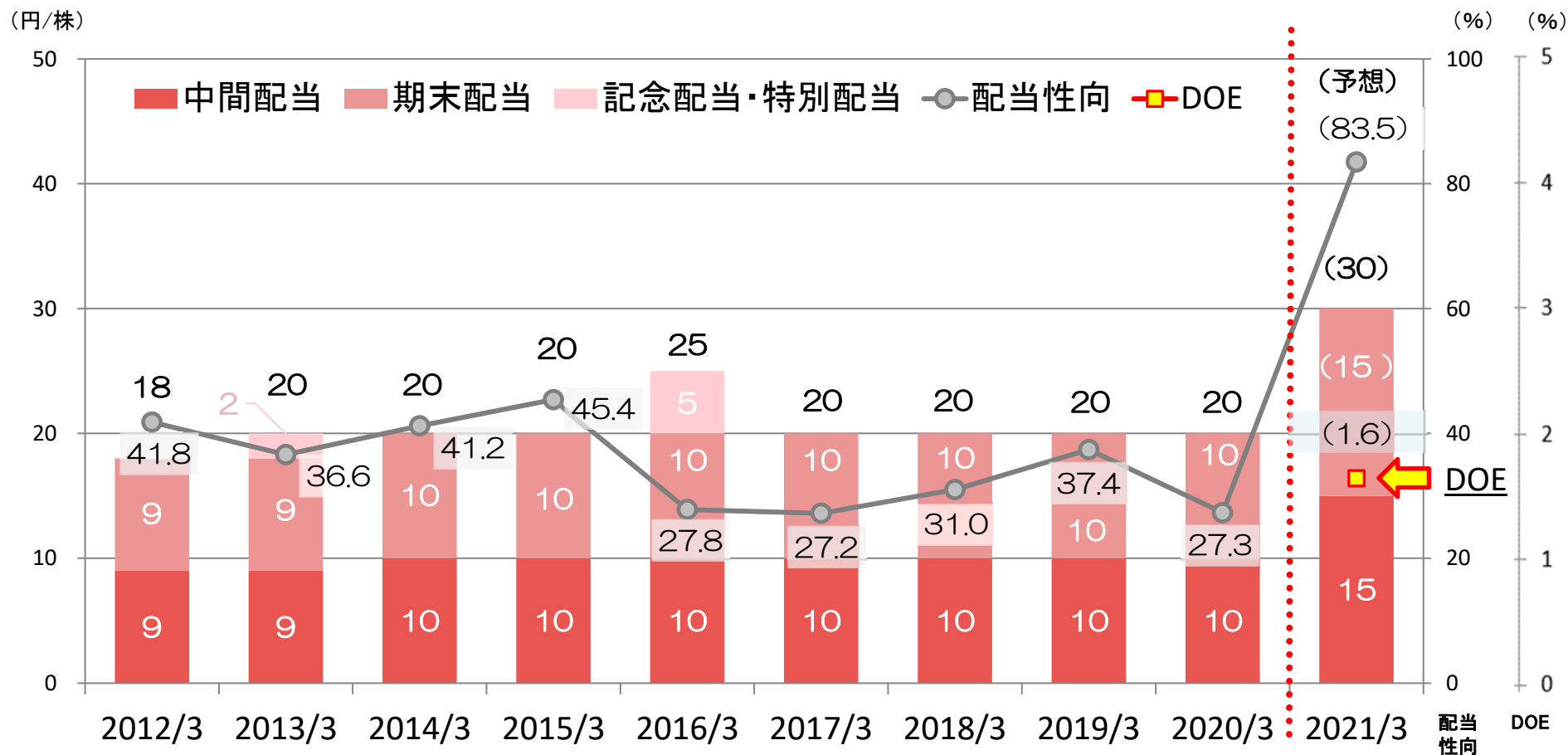
	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		増減		2021年3月期 第2四半期	
	実績	構成比	修正計画 (2020/8/7公表)	構成比	増減額	増減率	実績	達成率
熱交換器事業	12,368	38.7%	11,000	38.5%	▲ 1,368	▲ 11.1%	5,074	46.1%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	13,500	47.2%	▲ 1,481	▲ 9.9%	7,145	52.9%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,000	14.0%	▲ 524	▲ 11.6%	1,983	49.6%
その他	78	0.2%	100	0.3%	21	27.8%	51	51.2%
小計	31,952	100%	28,600	100%	▲ 3,352	▲ 10.5%	14,254	49.8%
調整額	—	—	▲ 100	—	▲ 100	—	—	—
受注高	31,952	—	28,500	—	▲ 3,452	▲ 10.8%	14,254	50.0%
熱交換器事業	12,041	37.0%	11,500	40.2%	▲ 541	▲ 4.5%	5,619	48.9%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	13,200	46.2%	▲ 2,757	▲ 17.3%	6,248	47.3%
バルブ事業	4,434	13.6%	3,800	13.3%	▲ 634	▲ 14.3%	1,969	51.8%
その他	78	0.3%	100	0.3%	21	27.8%	51	51.2%
小計	32,511	100%	28,600	100%	▲ 3,911	▲ 12.0%	13,888	48.6%
調整額	—	—	▲ 100	—	▲ 100	—	—	—
売上高	32,511	—	28,500	—	▲ 4,011	▲ 12.3%	13,888	48.7%
熱交換器事業	887	37.3%	800	56.3%	▲ 87	▲ 9.9%	432	54.0%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	380	26.8%	▲ 595	▲ 61.1%	279	73.5%
バルブ事業	471	19.8%	200	14.1%	▲ 271	▲ 57.6%	161	80.9%
その他	43	1.8%	40	2.8%	▲ 3	▲ 7.2%	36	92.3%
小計	2,377	100%	1,420	100%	▲ 957	▲ 40.3%	910	64.1%
調整額	▲ 103	—	▲ 120	—	▲ 16	—	▲ 43	—
営業利益	2,274	—	1,300	—	▲ 974	▲ 42.8%	866	66.7%

2. 設備投資・減価償却の計画

(百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	
	実績	実績	実績	上期実績	計画
設備投資	510	1,890	3,260	364	1,400
内容	熱交換器事業の金型、プロセスエンジニアリング事業の基幹システム など	熱交換器事業の金型、バルブ事業の機械設備、その他事業の工場及び工場用地取得 など	熱交換器事業のソフトウェア、青梅事業所工場建設、生駒事業所の事業用地取得 など	各事業の設備増強・更新、熱交換器事業の基幹システム更新、全社会議システムの増強、生駒事業所の造成工事 など	
減価償却	1,153	1,154	1,137	476	1,100

3. 配当の計画



【利益配分の基本方針】

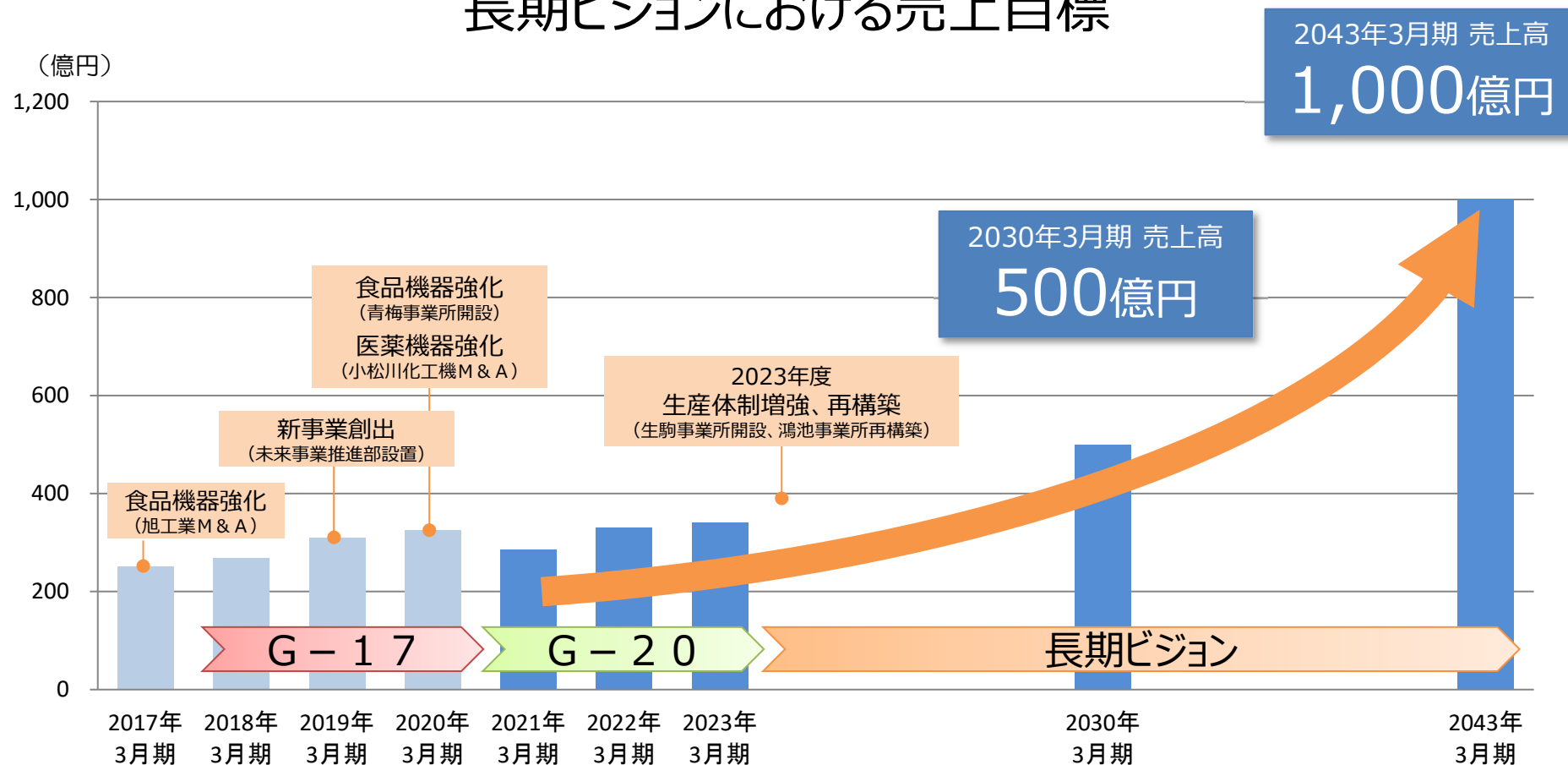
全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)1.5%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

中期経営計画

「G-20」の概要

1. 長期売上目標

長期ビジョンにおける売上目標



2043年3月期（創業100周年）売上高目標を1,000億円に設定。
M & A や新事業所開設、新規事業創出などの成長戦略を推進。

2. 10年後(2029年度)ビジョン

流体の熱と圧力の制御技術をより高く・より広く・より深く追及し、
社会課題の解決に貢献できる社員集団を実現する

売上高
500億円

営業利益
50億円

営業利益率
10%

Vision1

コア技術を、より高く、より広く、より深く追及し様々な社会課題の解決に貢献する社員集団が実現できている。

Vision2

CSR活動を通じたコーポレートガバナンス体制のより一層の強化が図れている。

Vision3

競争力・収益力の向上を図り、長期的な企業価値の増大に向けた企業経営の仕組みが構築できている。

3. 「G-20」ビジョン、スローガン

2020年度～2022年度 中期経営計画

G-20

Growth Governance
Global Goal

ビジョン

一人ひとりの挑戦で、事業の発展と共に
活力ある社員集団を実現する

スローガン

新たな取り組みで**新たな価値を創造**し、
圧倒的な存在感No.1企業を全員で
実現しよう！

日版製作所「G-20」中期ビジョン

一人ひとりの挑戦で、
事業の発展と共に
活力のある社員集団を実現する

変わろう、変えよう！
Change makes Change



日版製作所「G-20」スローガン

圧倒的な存在感No.1企業 **創造** 新たな取り組みで新たな価値を創造し、
新たな価値の **創造** 圧倒的な存在感No.1企業を
Value Creation 全員で実現しよう！

4. CSR-SDGsビジョン

① 日阪グループの保有技術を活用したソリューションの提供により、顧客の課題及び社会課題が解決できる



② 多様性（働き方、性別・国籍・障がい等を含む個性）を活かし、みんなが健康で活躍できる



③ 災害対応力の強い会社になる



④ MOTTAINAI活動（Reduce：減らす、Reuse：繰り返し使う、Recycle：再資源化する）でCO2排出量削減ができる



⑤ ガバナンス向上による成長と健全かつ適正な業務運営(コンプライアンス経営)ができる



⑥ パートナーシップによる社会課題解決ソリューションの提供ができる



5. 連結業績目標

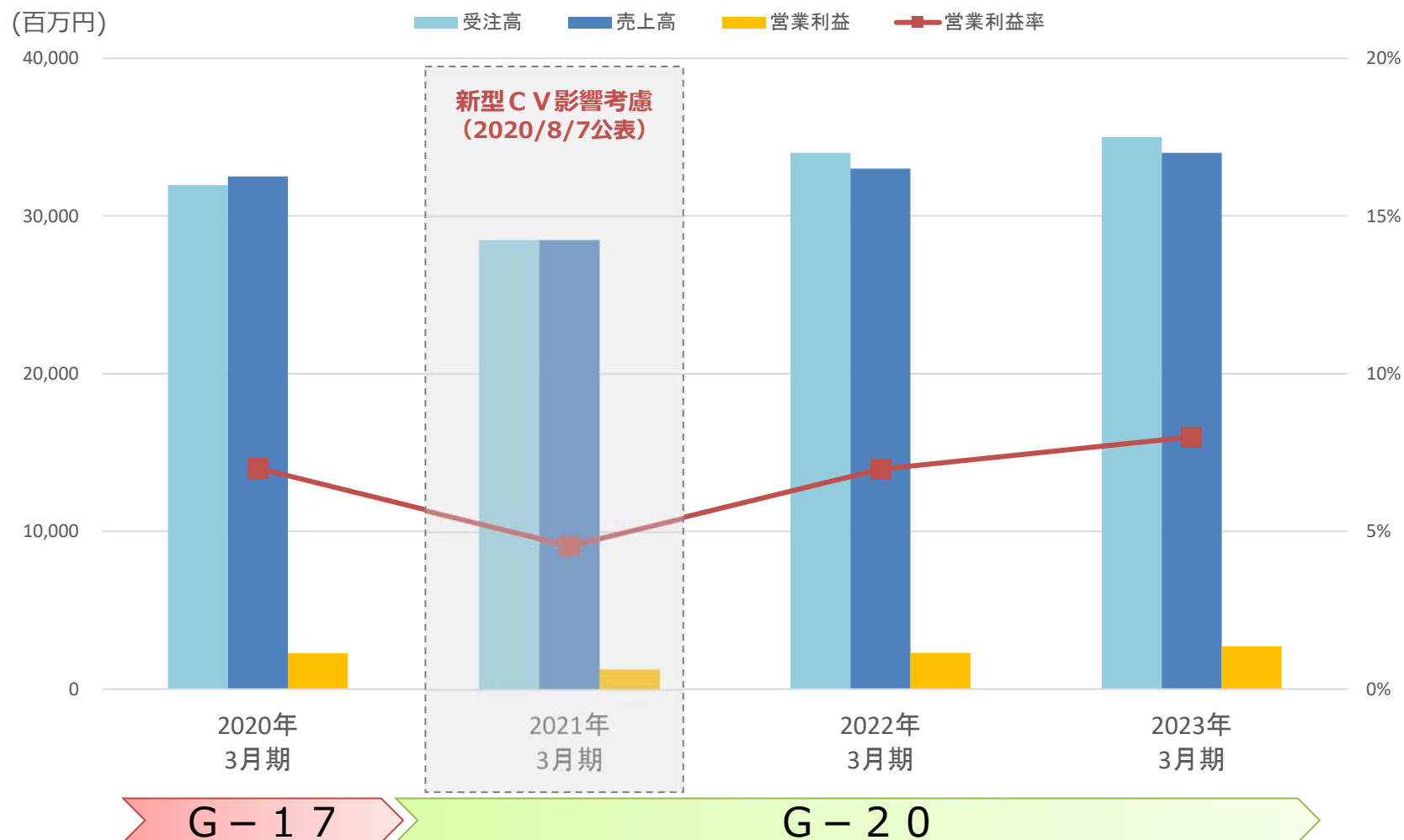
(百万円)

	G-17 最終年度 2020年3月期 実績 A	G-20目標				増減率 $\frac{B-A}{A}$
		2021年3月期 当初計画 (感染拡大前に策定)	2021年3月期 修正計画 (2020/8/7 公表)	2022年3月期 計画 ※1	2023年3月期 計画 B ※1	
受注高	31,952	33,000	28,500	34,000	35,000	9.5%
売上高	32,511	32,000	28,500	33,000	34,000	4.6%
営業利益	2,274	2,000	1,300	2,300	2,720	19.6%
営業利益率	7.0%	6.3%	4.6%	7.0%	8.0%	+0.1pt
経常利益	2,573	2,200	1,540	2,500	2,920	13.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	1,500	1,010	1,700	2,000	▲3.9%
ROE ※2	4.1%	2.9%	2.0%	3.3%	3.8%	▲0.3pt

※1：2022年3月期、2023年3月期の連結業績目標には、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響を織り込んでおりません。
 なお、2021年3月期の計画につきましては新型コロナウイルスの影響により修正をかけております。
 今後、「G-20」の連結業績目標に変更が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

※2：2020年3月期は特別利益により当期純利益が増加したことにより、ROEが高水準となっております。

6. 連結業績目標グラフ



注：2022年3月期、2023年3月期の連結業績目標には、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響を織り込んでおりません。
 なお、2021年3月期の計画につきましては新型コロナウイルスの影響により修正をかけております。
 今後、「G-20」の連結業績目標に変更が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

7. 資本政策

- 株主への利益還元、強固な財務基盤の確保、戦略的投資をバランスよく考慮する
- 「R O E」を株主価値向上の重要指標とし、資本コストを上回るR O Eを目指す

株主への利益還元

- ◆ 連結業績を勘案しつつ **DOE 1.5%以上**※を
目途に配当を実施
→ **1株当たり配当金を
30円/年に増配**
- ◆ 弾力的、機動的な
自己株式取得を実施

戦略的投資

- ◆ 経営基盤の強化
→ 新事業所開設
新事業開発

株主価値向上

効率的な資本政策で
資本コストを上回る
R O Eを目指す

強固な財務基盤の確保

- ◆ 財務体質の強化

※ DOE:連結純資産配当率
配当金につきましては、
P 20「配当の計画」もご覧ください。

足元の事業概況 及び取り組み施策

1. 新型コロナウイルスの影響

(百万円)

	当初計画と 修正計画の差額	2021年3月期 当初計画 (感染拡大前に策定)	2021年3月期 修正計画 (2020/8/7公表)
受注高	▲ 4,500	33,000	28,500
売上高	▲ 3,500	32,000	28,500
営業利益	▲ 700	2,000	1,300
経常利益	▲ 660	2,200	1,540
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲ 490	1,500	1,010

当社グループの事業領域においても、一部の業界を除き
設備投資の抑制に伴う計画案件の延期や規模縮小が発生

2. ポストコロナの新しい社会像

新たな社会像	当社の提供する価値	関連する事業
持続可能な社会への転換		
温暖化ガス排出量ゼロへの取り組み	地熱、バイオマス発電所やCO ₂ 回収設備などへの熱交換器供給	熱交換器事業
食品ロスの削減	食品殺菌技術による賞味期限延長	PE事業※
自給型サプライチェーンの構築		
ワクチンなどの国産化	ワクチン製造プラントへの培養槽納入	PE事業
生産拠点の再整備	省人化を目的としたプラント設計、施工	PE事業
急速なデジタル化		
DXの加速	顧客のDXを実現するプラント設計	PE事業
IoT、5Gなどの進展	通信機器などの増加による半導体需要増	熱交換器事業、バルブ事業

※ プロセスエンジニアリング事業

3. 新たな社会へ当社が提供する価値

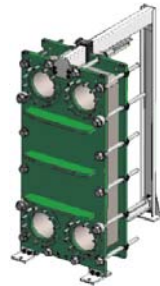


4. プレート式熱交換器の特長

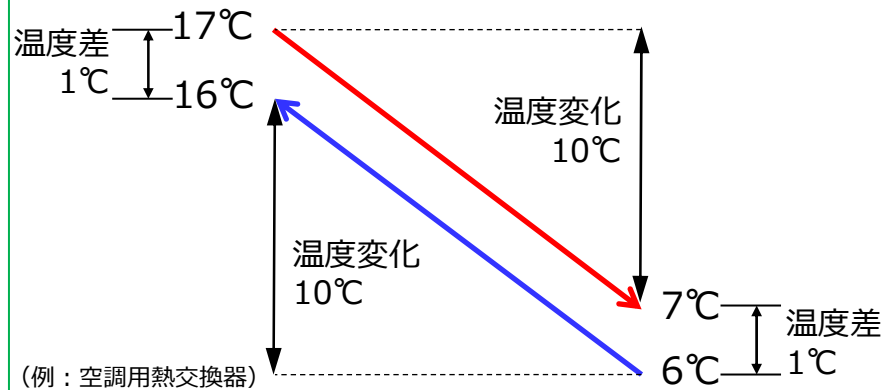
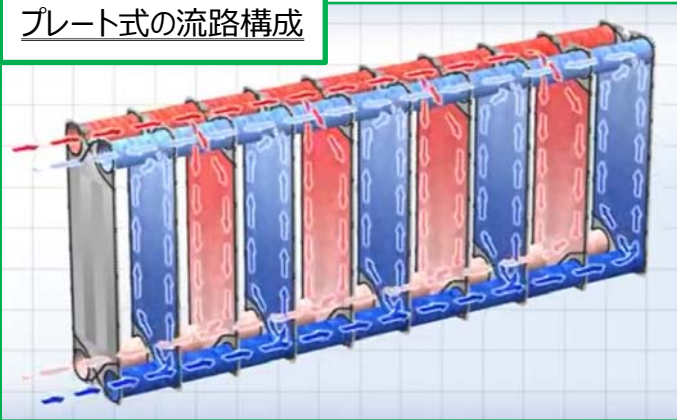
▶ プレート式熱交換器は高性能、軽量、コンパクト

【プレート式熱交換器】

・ 温度差大 ・ 伝面小

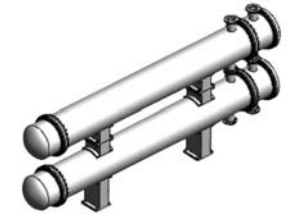


プレート式の流路構成

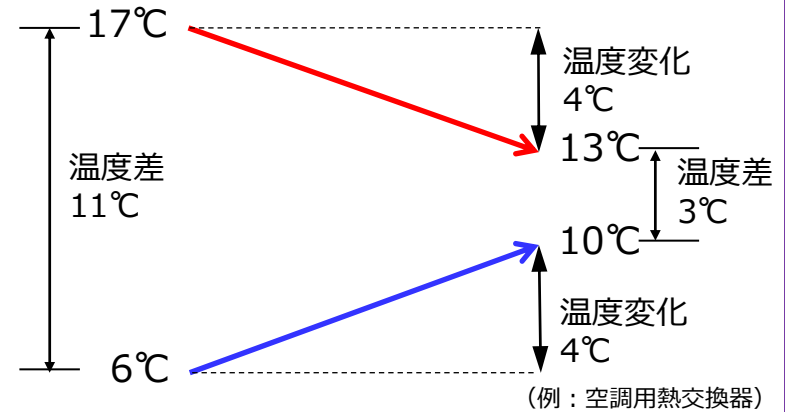
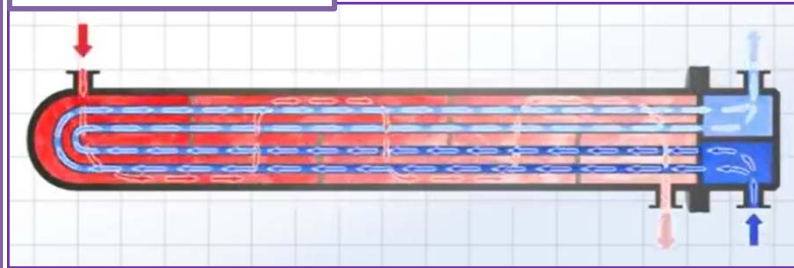


【多管式熱交換器】

・ 温度差小 ・ 伝面大



多管式の流路構成



4. プレート式熱交換器の特長

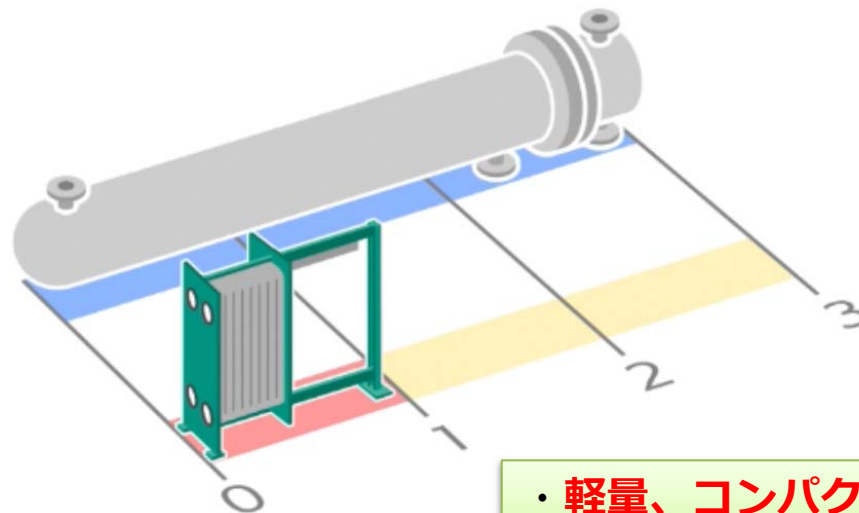
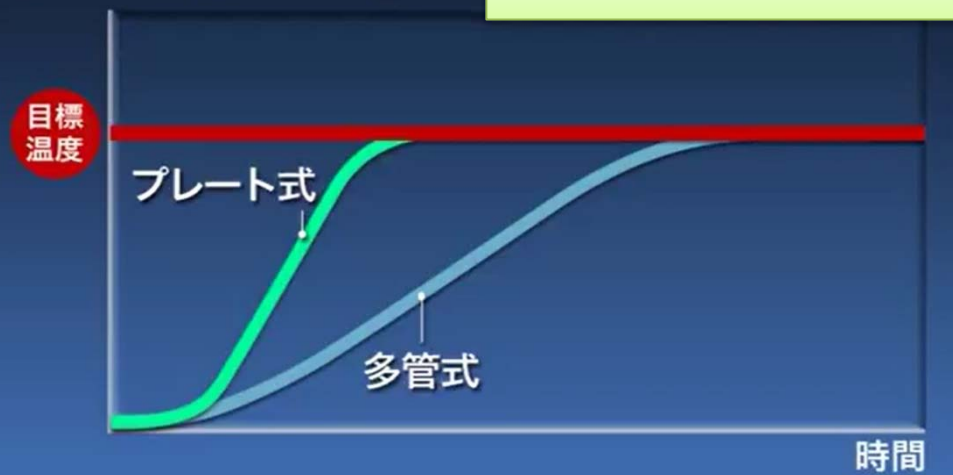
▶ プレート式熱交換器は高性能、軽量、コンパクト



- **高精度**なプレス成形
- **複雑な流路**による高い乱流効果
- **薄板**で高い熱伝導率

立ち上がり所要時間

• **敏速**な運転応答性



• **軽量、コンパクト**

5-①. CO₂の回収と利用

CO₂削減量全体の16%をCCUSが担う（2060年時点） ※IEA（国際エネルギー機関）の報告

▶ CO₂回収プラント用熱交換器「SX-80」を提供

化学吸収法を用いたCO₂回収プロセスにおけるアミン溶液の熱回収に最適

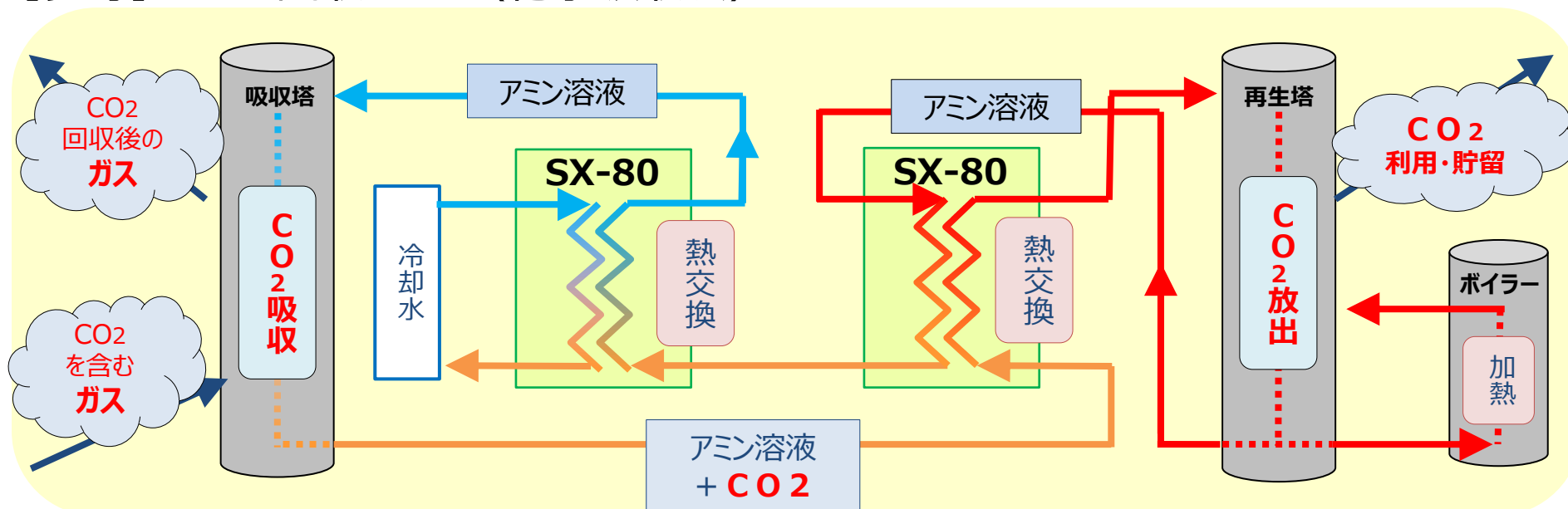
高い伝熱性能

⇒高性能プレートで高い熱回収率を実現。
再生塔で必要な蒸気量を削減。

高い耐薬品性

⇒耐熱性、対アミン耐性に優れた新開発の
ガスケットで安定的なシール性を実現。

【参考】CO₂回収フロー（化学吸収法）



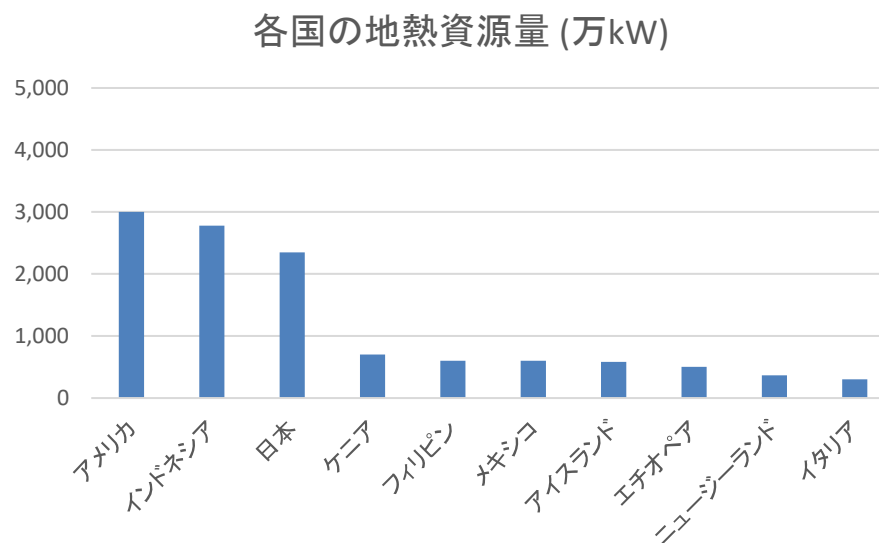
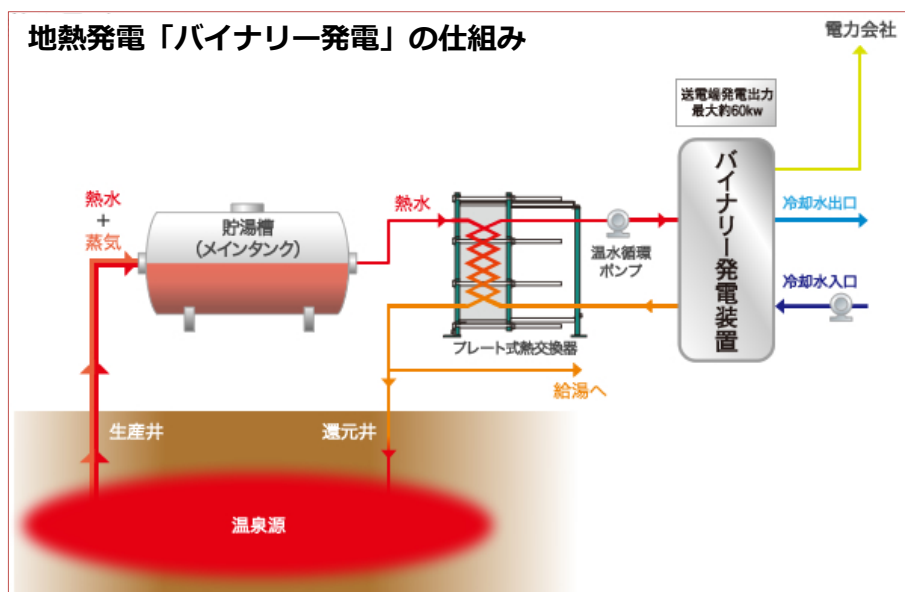
5-②. 再生可能エネルギーの推進

再生可能エネルギー による発電を**16%**(2017年度)から**22~24%**
(2030年度) **へ拡大** ※「日本のエネルギー2019」資源エネルギー庁2020年2月発行

再生可能エネルギー：地熱、バイオマス、風力、太陽光、水力

▶再生可能エネルギーの発電施設へプレート式熱交換器を供給

- ・地熱、バイオマス発電所へプレート式熱交換器を供給。
- ・他の発電所についても潤滑油冷却などの用途でプレート式熱交換器を使用。
- ・電力安定供給のための火力、原子力発電所へも継続して熱交換器を供給。



出典：地熱資源開発の現状について（平成29年6月 資源エネルギー庁 資源・燃料部）

5-③. 食文化の変化

アジアを中心に**生活習慣の変化**や**衛生意識の向上**などにより、**レトルト食品**や**無菌包装米飯（パックご飯）**の**需要が拡大**

▶日本の食品メーカーの海外進出に合わせ、国内と同品質の装置やプラントを提供

- ・日本国内でのレトルト殺菌装置のトップメーカーとしての実績をPR。質の高い装置を提案、販売。
- ・既に韓国のH社より無菌包装米飯のプラント案件を受注。ご飯、惣菜のアジア展開を加速させる。



5-④. ワクチンの開発、製造

①新型コロナウイルスのワクチン開発及び製造への取り組みが進展

- 厚労省がワクチン生産体制等緊急整備事業を制定。国が主導して国産ワクチンの開発と製造に本腰を入れる。

②その他医薬品の国産化に向けた取り組み

- その他の重要な医薬品や医療機器についても、安全保障の観点から国産化を推進することを決定。

③抗体医薬品の需要が拡大

- 製薬企業の開発対象が化学合成による低分子型医薬品からバイオ医薬品などの高分子型医薬品へ移行

▶ **小松川化工機との協業を加速。ワクチンや抗体医薬品に関する製造設備を提供。**

5-④. ワクチンの開発、製造

▶ **抗体医薬の製造工程における対応工程拡充によりプラント元請けポジションを確立し、医薬機器関連の売上高50億円（2025年度）を目指す。**

【抗体医薬の製造工程における日阪グループの保有技術】



5-⑤. DXの加速

▶ DX加速によるIoTを用いた遠隔サポート・メンテナンス体制の提供

【コロナ前の食品機器事業（機器単体販売から食品プラント販売へ）】

機器単体販売事業
レトルト食品・惣菜を
対象とした加熱殺菌装置
の製造販売

RIC（短時間調理殺菌機）



食品プラント販売事業
無菌包装米飯プラントを代表とする食品プラントの製造販売
（食品機器事業の飛躍的な成長を実現）

1 水浸漬

2 定量充填

3 殺菌

4 炊水充填

5 炊飯

6 シール

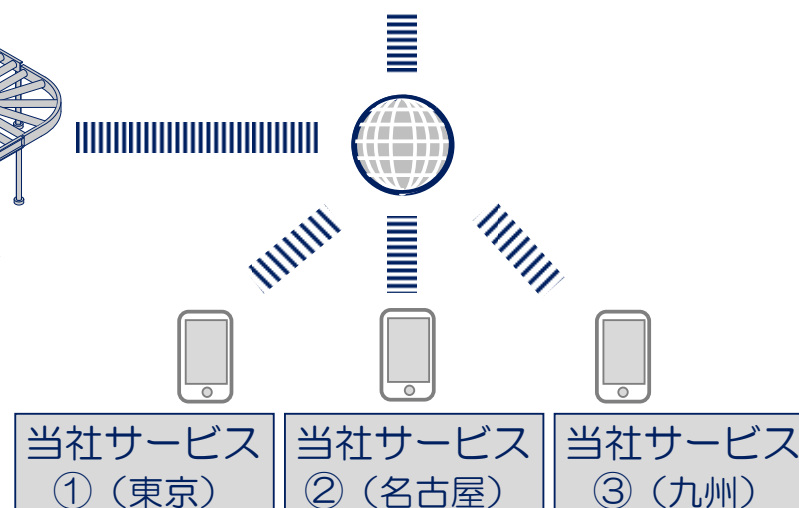
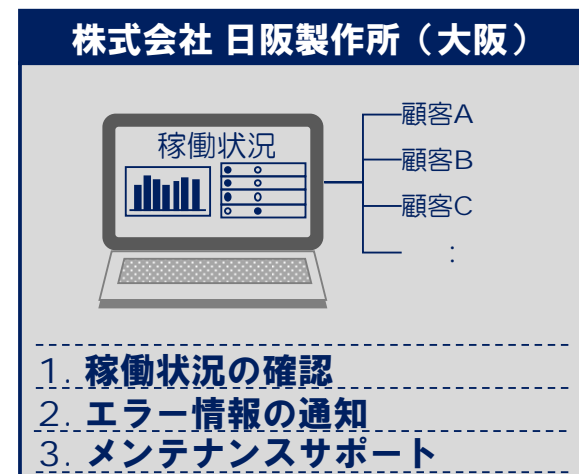
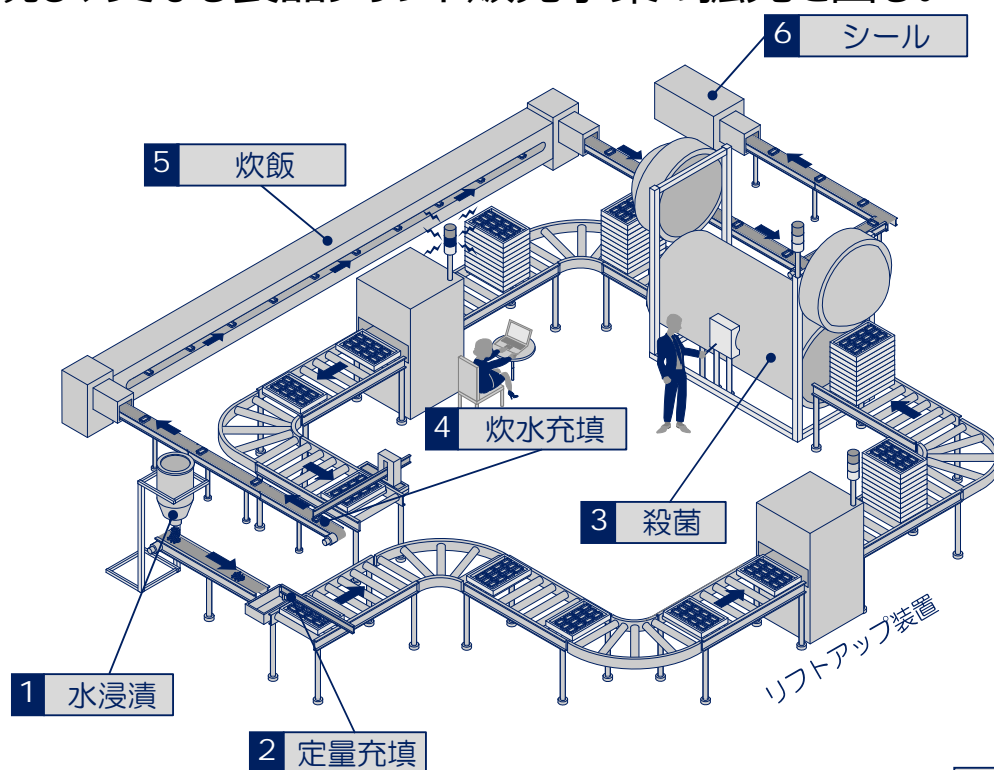
リフトアップ装置

5-⑤. DXの加速

▶ DX加速によるIoTを用いた遠隔サポート・メンテナンス体制の提供

【ポストコロナの食品機器事業】

全国どこからでも、遠隔サポートやシステムメンテナンスを実現し、更なる食品プラント販売事業の拡充を図る。



(補足資料)
中期経営計画
「G-20」の概要

1. 熱交換器事業の取り組み

きっと・もっと・ずっと - 熱で未来を創造する The Thermal Solution Company
を掲げ、熱に関する社会課題を解決できる**業界No. 1 企業**を目指す。

熱ソリューション

- 顧客の熱に関する課題を解決する「熱ソリューション」の提供を推進。

セグメントマトリクス組織

- 前中計で実施したセグメントマトリクス組織の深化とセグメント間の連携強化。

SDGs

- SDGsの考え方に基づく新製品・技術・サービスの開発。

グローバルモノづくり活動

- 日本、マレーシア、中国におけるグローバルモノづくり活動の推進。

海外事業強化

- 東アジア、ASEAN、オセアニア、MENA(Middle East & North Africa)でのシェア拡大。

2. プロセスエンジニアリング事業の取り組み

世の中で求められているもの、新しい価値となるものを第一に考え、顧客の期待を超える**No. 1の製品**と**No. 1のサービス**を提供する。

新事業開発

- 時代に合わせたニーズを汲み取る新たな事業の開発。

顧客ニーズへの対応

- 顧客企業の省人・省力・高品質生産ニーズに応える製品・システムの提供。

海外生産体制強化

- 中国子会社における生産体制強化。

グループ内連携強化

- 国内子会社との連携による食品機器・医薬機器に関する事業強化。

新事業所開設準備

- 生駒事業所（2023年度開設予定）での生産体制構築に向けた準備活動。

3. バルブ事業の取り組み

様々な業界に**No. 1 品質・性能**のボールバルブを提供し、お客様の事業活動を通じて健全な社会作りに貢献する。

重点市場への営業強化

- 主要販売先である化学業界への受注を拡大するとともに重点市場への営業を強化。

用途限定弁の強化

- 用途限定弁の販売強化によるシェア拡大。

SDGs

- 社会課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献できる製品の販売。

海外事業の強化

- 中国及びタイを中心としたASEAN地域への販売強化。

生産体制再構築

- さらなる売上拡大を目的とする鴻池事業所での生産体制再構築に向けた準備活動。

4. 事業別業績目標

(百万円)

	G-17 最終年度 2020年3月期		G-20 最終年度 2023年3月期		増減	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	12,368	38.7%	13,200	37.6%	831	6.7%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	17,400	49.6%	2,418	16.1%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,400	12.5%	▲ 124	▲ 2.8%
その他	78	0.2%	100	0.3%	21	27.8%
小計	31,952	100%	35,100	100%	3,147	9.8%
調整額	—	—	▲ 100	—	▲ 100	—
受注高	31,952	—	35,000	—	3,047	9.5%
熱交換器事業	12,041	37.0%	12,800	37.5%	758	6.3%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	16,900	49.6%	942	5.9%
バルブ事業	4,434	13.6%	4,300	12.6%	▲ 134	▲ 3.0%
その他	78	0.3%	100	0.3%	21	27.8%
小計	32,511	100%	34,100	100%	1,588	4.9%
調整額	—	—	▲ 100	—	▲ 100	—
売上高	32,511	—	34,000	—	1,488	4.6%
熱交換器事業	887	37.3%	1,200	41.5%	312	35.2%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	1,300	45.0%	324	33.2%
バルブ事業	471	19.8%	350	12.1%	▲ 121	▲ 25.8%
その他	43	1.8%	40	1.4%	▲ 3	▲ 7.2%
小計	2,377	100%	2,890	100%	512	21.5%
調整額	▲ 103	—	▲ 170	—	▲ 66	—
営業利益	2,274	—	2,720	—	445	19.6%

<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 経営企画本部 経営戦略部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曾根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



～ロゴマークの由来～

日本の「日」とステンレス (STAINLESS) の「S」を組み合わせてデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。